

プロジェクト科目 議事録

2006年 10月 8日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 H	学生 ID -
日時	2006年 10月 6日(金) 15:00 ~ 16:30
場所	寧静館 501
議題	秋学期のスケジュール 春学期ワークショップの総括
参加者	A、C、D、E、F、H、T
記録	<p>1. 秋学期のスケジュール</p> <p>○全員が集まれる時間帯 月曜日1限、月曜日6限、火曜日5限 しかし、月曜日と火曜日は大学に来ない人もいるので金曜日の昼休みと3限に毎週会議を行うことが決定した。会議は来週(10/13)から開始することになった。 月6、火5は緊急時に会議が行われることが決定、場合によっては金5にも会議を開く可能性があることも確認された。</p> <p>2. 春学期ワークショップの総括</p> <p>9/27のウェブ講習会で、ウェブ作成会社の方にサイトツリーなどを見せたが、ワークショップの分析や検証といった総括がないといいサイトは作れない。もう一度春にやってきたことを分析してまとめ直さないと今後につながる活動はできないので、春の総括をすることになった。</p> <p>○春学期の総括</p> <p>F) ウェブ講習会でサイトのゴール(目的)は何かと聞かれたとき、答えることができなかった。総括することも大事だがゴールを決めることが大切ではないか。</p> <p>E) 春の総括もみんなで共有していないし、総括をすることがサイトのゴールにつながるのではないかと思う。</p> <p>A) 今日いきなり総括することはできないと思うので来週総括しようと思う。ただし、各自が自由に総括してくると話がまとめられなくなるので総括すべき項目に分けてまとめてくれるのがよいのではないかと思う。</p> <p>例・良い点、悪い点(改善点)、意味づけ、効果等</p>

話し合いの結果、今日リストアップする項目について来週の昼休みまでに考えてくる
ことが決定した。

T) 総括はどこまで掘り下げるつもりなのか。Aが書いた（第1回WS総括 060919 参
照）水準ですか。

A) 私が報告した総括を超えるものを望んでいる。

A) 私が書いた総括は全体的なもので細かいところまでは分析していないので不足して
いる。だからワークショップまでの経緯をもっと深く分析し、意味は何なのかを考え
てくる。サイトを見た人にこういうアイデアなら使いたいと思わせるために考えて
きてほしい。

春ワークショップの総括のポイント

※経緯を考える（企画がどのように変化していったのか）

※他との比較（他のイベントと比較して自分たちの企画はどこが違い、どこが独創的な
のか等）

※「効果」を客観的に示すこと（他者が見てわかるように）

○項目を考えよう

→ブースの意味づけ+発表会の効果（取り入れた意味）が重要である

各自で必要だろうと思う項目を発表した結果以下の項目が浮かび上がった。

- ・ 展示
- ・ 紙芝居
- ・ 体験
- ・ 発表会
- ・ 事前学習
- ・ 浴衣参加
- ・ 保護者参加
- ・ ワークショップ当日の運営
- ・ 絵日記
- ・ 授業参観
- ・ 小学校との企画会議
- ・ 外部との協力
- ・ 企画内容の変遷
- ・ メンバー向け勉強会
- ・ マイ扇

各項目を考えてくるときにこういう観点から考えるのが良いではないかと各自が提案
したヒント

- ・ 体験ブース…太鼓・舞・謡に分けた、謡のプリントを作った、『賀茂（加茂）』を取り
上げたなど
- ・ 紙芝居ブース…読み手の存在、移動方式、枚数、『羽衣』
- ・ 展示ブース…面と装束の使用、着付けイラスト、写真パネル、『羽衣』
- ・ 発表会…リハーサル、人数、回数
- ・ 勉強会…能鑑賞、体験ブース事前学習、展示の下見

- ・当日の運営…アナウンス、引率、全体の動き、タイムテーブル+動線図、小学校への協力要請、看板、腕章、司会の原稿

※来週までの課題

すべての項目について複数の意味づけ・効果（最低でも一つ）を考えてくること
項目をそれぞれ分類してくること（例、準備・本番。分類は各自で自由に考えてきてもよい。）

総括するときは活動報告書や議事録も参考にすること